



## 東京農業大学こめプロジェクト研究 概要

**目標:「こめ」に関する研究の新展開を試み、  
5年以内に研究成果を上げる。**

1. 新たな品種についての研究
2. 新しい機能性・製品開発に関する研究
3. 社会実装を目指す研究

**我が国の主食である米の需要拡大と、こめを  
中心とした関連産業の維持発展に繋げていく。**



# 東京農業大学こめプロジェクト研究 研究体制

プロジェクト研究課題	GD	PD (農生研・教授)	PM
1 新たな品種 (酒米を含む) についての研究 (土壌・肥料・栽培含む)	末松 広行	佐々木 卓治 篠崎 和子	上地 由朗 (農学部・教授)
			斎藤 彰宏 (応用生物科学部・助教)
			※松本 隆 (生命科学部・教授)
2 こめの機能性についての研究 (新しい製品開発に関する研究を含む)		石見 佳子	山本 祐司 (応用生物科学部・教授)
			数岡 孝幸 (応用生物科学部・准教授)
			井上 博文 (応用生物科学部・准教授)
			野口 治子 (農学部・准教授)
3 新しい就農システムや流通システムのモデルを提案し社会実装を目指す研究		佐々木 昭博	堀部 篤 (国際食料情報学部・教授)
			大浦 裕二 (国際食料情報学部・教授)
	菅原 優 (生物産業学部・教授)		
	町田 怜子 (地域環境科学部・准教授)		
	※渋谷 往男 (国際食料情報学・教授)		

GD：ゼネラルディレクター PD：プロジェクトディレクター PM：プロジェクトマネージャー ※オブザーバー